

## 【どんぐりころころ】

どんぐりを用いた自然工作は子どもたちにとって一番馴染みのもの、童謡は幼稚園児も知っています。原曲は梁田 貞、馴染みの①番と②番は青木存義の作詞、③番の作詞は大正時代の音楽家岩川三郎が、④番は落語家の桂文枝が作成したと福嶋孝子さんが教えてくれました。④番を終わったら①番に戻るように文枝師匠は考え、泣き虫どんぐりをクローズアップさせようとしたようですが、泣き虫だったどんぐりが大きな木に育ってどんぐりをいっぱい実らせ、みんなを喜ばせてめでたしめでたしで終わろうと⑤番の歌詞を考案しました。

どんぐり工作の最後にはパネルに掲げられた歌詞を見ながら、小学生が皆ニコニコしながら大声で斉唱して終わっています。

## どんぐりころころ

梁田 貞 作曲  
坪野春枝 編曲

面白げに ♩=60

1. どん ぐりころころ どん ぶりこ  
2. どん ぐりころころ よろ こんで  
3. どん ぐりころころ ないてたら  
4. どん ぐりころころ かえったら  
5. どん ぐりころころ そのとちゅう

おい けにはま て さあ たいへん どじょうが でてきて  
しばらくいっしょ に あそ んだが やっぱりおやまが  
なかよしこりす がとんできて おちばでくるんで  
なかまがみーん なひろ われて おはなしあいてが  
こりすにひろわ れうめ られて めがでてはがでて

こん にちは ぼっ ちゃん いっしょに あそびましよ  
こい しいと ない ては どじょうを こまらせた  
おん ぶして いそいでおやまに つれてった  
いなくな り どじょうに あいに ころがった  
きに なって どん ぐり いっばい みのらせた